

えんつけ きんぱく
「縁付金箔製造」を含む

こうしょう
「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」が
ユネスコ無形文化遺産に！

令和2年12月17日に本県の「縁付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産登録が決定されました。

本県では4件目のユネスコ無形文化遺産となり、脈々と受け継がれてきた石川の伝統技術が、かけがえのない人類共通の財産として国際的に認められました。

「縁付金箔製造」とは・・・

「伝統建築工匠の技」を構成する本県の「縁付金箔製造」は、箔打ち専用の手漉和紙を加工した箔打紙という紙に金を挟んで打ち延ばし、金箔を製造する技法です。

金箔を製品として出荷する際に用いる箔合紙という紙が金箔を縁取るように一回り大きいことから、縁付と呼ばれます。

縁付金箔は極めて薄く、しなやかで大きく、色艶に優れているという特長があり、工芸作品の製作や文化財の保存修理に使われています。



金箔を挟み替える様子



金箔を挟んだ紙の束を箔打機で打つ様子

教育

たいあつぷ

No.48
2021
2月

いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html

GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上

県内の公立学校では、国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校においては、児童・生徒1人1台、高校においては、3クラスに1クラス分のタブレット端末の整備が令和2年度中に完了します。

GIGAスクール構想の目的は、タブレットなどのICTを「ツール」として活用することで、「教員の斉指導による学び（一斉学習）」に加え、「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」、「子どもたち1人ひとりの能力や特性に応じた学び（個別学習）」といった、それぞれの学習場面で、ICTの特徴を生かして、児童・生徒の学びの質を高めることにあります。

令和3年度からは、タブレット端末等を活用した授業が本格的にスタートします。これまでの教育実践と最先端のICTを組み合わせることで、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びを実現し、学習活動の一層の充実を図っていきます。

これまでに登録された石川県のユネスコ無形文化遺産

「奥能登のあえのこと」

輪島市・珠洲市・穴水町・能登町に伝わる稲の生育と豊作を約束してくれる田の神をもてなすもので、毎年12月と2月に行われ、稲作に従事してきた日本人の生活基盤の特色を示す儀礼

(平成21年登録)



田の神に料理を説明し、食事によるもてなしを行う様子

「青柏祭の曳山行事」

5月に「でか山」とよばれる高さ約12メートル、重さ約20トン、車輪の直径2メートルの巨大な曳山を鍛冶町・府中町・魚町から1基ずつ奉納し、市中を曳きまわす七尾市の大地主神社の祭礼

(平成28年登録)



大地主神社に奉納されるでか山

「能登のアマメハギ」

輪島市と能登町で伝承され、アマメハギあるいはメンサマと称する神が人里を訪れ、家々を巡り歩き、新たな年を迎えるにあたって怠け者を戒めたり、人々に幸や福をもたらしたりする行事

(平成30年登録)



アマメハギが子どもを戒めて回る様子

ICTを活用した学習の場面

一斉学習



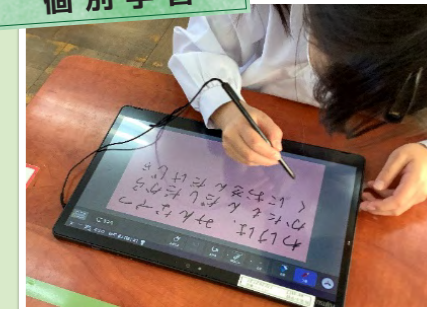
画像の拡大掲示や書き込み、音声、動画などを活用しながら、わかりやすく説明することにより子どもたちの興味・関心を高めるなどICTを効果的に活用した指導方法の工夫・改善に取り組みます。

協働学習



タブレット端末や大型提示装置などを用いて、子ども同士による意見交換、発表など双方向型の協働的な活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力の育成を目指します。

個別学習



子どもたちが、インターネットやデジタル教材を用いて、自らの疑問について深く調べることや自分に合った進度で学習することなど、個々の理解や関心の程度に応じた学びの実現に取り組みます。

特別支援学校における就労支援の充実に向けた取組

～農業分野への就労促進モデル事業の実施～

特別支援学校では、これまで、インターンシップや雇用促進セミナー、関係業界団体と連携した技能検定などを実施することで、卒業後に一般就労した生徒数が、ここ10年間で約2倍に増加しており、就職先も、物流や小売、飲食サービス、製造業など多方面に広がっています。

こうした中、石川県教育委員会では、今年度より、新たに農業法人にご協力をいただき、明和及び七尾特別支援学校の2校で、知的障害のある生徒の農業分野への一般就労に向けたモデル事業を行っています。

具体的には、農業法人の方々に、生徒の能力や知的障害について理解を深めていただくとともに、1年生を対象に、農場の見学や農作業の体験学習を実施しています。

こうした取組を3年間、学年進行で実施し、段階的に実習内容を充実・高度化させていくとともに、農業法人の方々との連携を深め、生徒の一般就労へつなげていきたいと考えています。

農業法人関係者を対象とした授業参観



複数の農業法人にて見学・実習させていただいています



ネギの葉切り



ぶどうの選別



農業法人

- ・業務を手伝ってもらえることで非常に助かっています。
- ・のみ込みが早く、教えがいがあります。



生徒

- ・はじめは、難しく不安でしたが、実習を経験して、がんばって続けようという気持ちになりました。



保護者

- ・緊張しながらも色々学んでいるようです。
- ・子供の新しい面が見えた感じがします。

不登校に悩む児童生徒と保護者への支援について

学校に行けないことをひとりで悩まないでください

スクールカウンセラー

学校では、児童生徒や保護者からの相談を受け、個々に応じたきめ細やかな支援を行うため、心理に関する専門知識を持つスクールカウンセラーによる相談を受け付けております。

担任や相談室の先生、養護教諭までお気軽にご相談ください。

教育支援センター

登校することに不安を抱えている児童生徒のために居場所を提供し、学校復帰や社会的自立に向けた相談・支援を行うため、県内18箇所（県立7箇所、市町立11箇所）に教育支援センターを設置しております。

相談や利用を希望される方は、在籍する学校や市町教育委員会、石川県教育委員会までご連絡ください。



新型コロナウイルス感染予防のために

手洗いの徹底

手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗いましょう。



接触感染を避けるため、手洗いを徹底しましょう。

※手洗いができない場合にはアルコール消毒

手洗いの6つのタイミング



咳エチケット

感染症を他者に感染させないために、咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえましょう。



3密の回避

3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。また、「大声」に注意することも必要です。

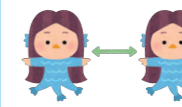
「密閉」の回避



●換気

気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うようにしましょう。

「密集」の回避



●身体的距離の確保

「新しい生活様式」では、人との間隔は、できるだけ2メートル（最低1メートル）空けることを推奨しています。

「密接」の場面への対応



●マスクの着用

身体的距離が十分とれないときや会話をするときはマスクを着用しましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

新型コロナウイルス感染症については、国内外の感染状況を見据えると、長期的な対応が求められることが見込まれます。感染者や治療にあたる医療従事者や社会機能の維持にあたる方とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は不適切であり、あってはならないことです。不確かな情報に惑わされて、人権侵害につながることを避け、正しい情報に基づく適切な判断・行動をとる必要があります。

不安や悩みを受け止める相談窓口がありますので、ひとりで悩まずにご相談ください。

24時間子どもSOSダイヤル

☎ 0120-0-78310

子どもの人権110番(平日 8:30～17:15)

☎ 0120-007-110

みなさんの読書を応援します

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

県立図書館では子どもが様々な本と出会い、読書の喜びを見つけるきっかけをつくるための取組を行っています。

読み聞かせの動画をYouTubeで配信

県立図書館では、ご家庭でも本に親しめるよう、読み聞かせの動画をYouTubeで配信しています。親子で一緒にお楽しみください。

図書館協力宅配便

当館を中継地点として、定期的に各館へ貸借資料の配送を行っています。お近くの図書館で、県内の図書館のさまざまな蔵書を簡単に取り寄せることができます。ご活用ください。



※当館ホームページの「動画配信」からアクセスできます。

【お問い合わせ先】石川県立図書館 〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番15号 TEL 076-223-9565 FAX 076-222-2531
ホームページ <https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/>

